

木 栢

# 活性化への道筋議論

## 市議と商店会役員懇談

【栢木】中心市街地の経営者の意見を市政に反映させようと、市議会産業教育

常任委員会は25日夜、市役所で市商店会連合会との懇談会を初めて実施した。参加者からは中心市街地への定住促進や若者が出店しやすい仕組み作りなど中心市街地活性化に関するさまざまな意見が寄せられた。

市中心部の約120店舗、10商店会にて構成する同連合会から寄せられた現状や課題を、今後の委員会活

動に役立てようと企画した。委員会、連合会から各7人が参加した。

懇談会は意見を出しやすいうち座で行われた。同連合会は、後継者不足などで10年後には商店数が現在の半数以下の50店舗程度になるといいう現状を報告。日常的に地元商店を利用する仕組みとして中心部への定住促進を求め

今後の商業の在り方について議論した意見交換会

る意見が寄せられたほか、  
ため、若者の出店支援や官  
民連携で、魅力ある街づく  
りを進め  
ることが不  
可欠とする  
声も挙がっ  
た。



広瀬義明  
委員長は、「とても1  
回では、ま  
とめきれな  
いほど多く  
の意見が出  
た。今後も  
定期的に関  
催したい」と述べてい  
た。  
(吉田隆則)